

中学生に硬式野球を

指導クラブ 北勢地方に広がり人気

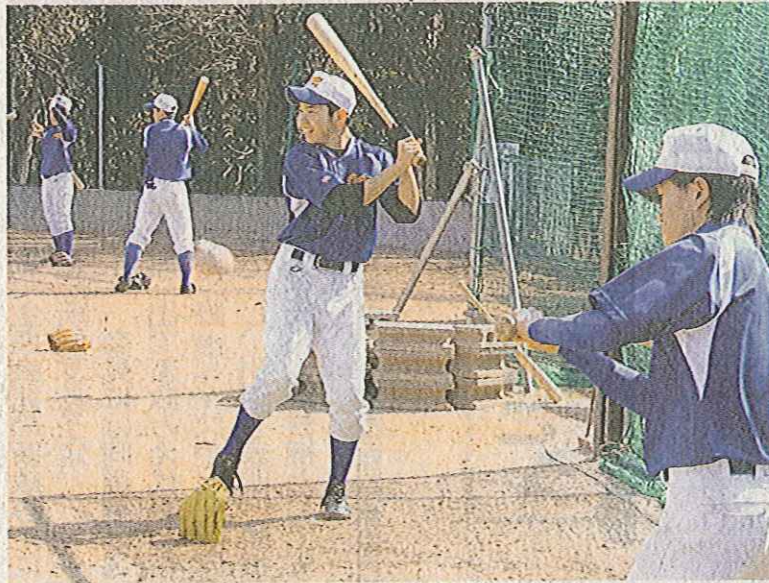
甲子園を目指す中学三年生に、高校入学前に硬式野球の基本を教えるクラブが北勢地方で広がっている。中学での大会が終わり、練習機会が減る夏から高校入学までのブランクを埋める取り組み。松阪市などから通う生徒もいる。

(福岡範行)

高校へ事前経験の場

四日市市西坂部町を
中心に活動する藤沢ベ
ースボールクラブは、
二年前から中学三年生
を受け入れた。北勢地
方を中心に三十二人が
所属。毎週土日に代表
の藤沢正宏さん(五〇宅
前の練習場で、打撃や

守備などの基礎練習を
繰り返す。
軟式野球の経験しか
ない生徒も多く、はね
ない硬式球を捕るた
め、ひざを落とすなど
の姿勢からたたき込
む。あいさつや道具へ
の感謝など精神面の指



指導も欠かさない。自宅

でできるのは、素振りやキャッチボール程度だから、生徒らは「ここで練習できてよかった」と声をそろえる。選抜高校野球大会に出場経験のある藤沢さんは高校野球の競争の厳しさを知っている。硬式経験者などは入部直後から別メニューの場合もあり、「同じスタートラインに立たせてやりたい」と話す。個々の努力の大切さが身に染みているから、一生懸命が見えなければ叱りもする。

道具代を除き、ボランティアで続けている。藤沢さんは「野球も子どもも大好きなんですよ」と話した。

北勢地方では数年前に高校入学前に特化したクラブが立ち上がり、人気に。今シーズンは四クラブほどが活動をしているという。

バッティング練習に
打ち込む生徒たち
四日市市西坂部町で